

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年1月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年1月1日～1月31日）

○調査期間：令和3年2月1日～令和3年2月18日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業19企業、卸売業12企業、小売業26企業

飲食業18企業、サービス業41企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計135企業>

○調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲36.8）よりマイナス幅が19.5ポイント拡大し、▲56.3となった。業種別では、すべての業種でマイナス幅が拡大した。

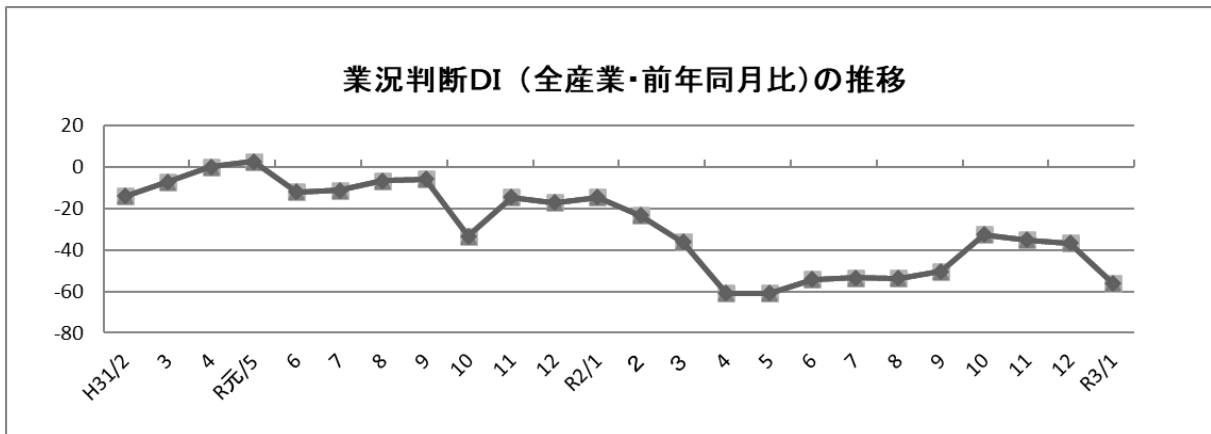
○全産業合計の水準DIは、前月（▲36.1）よりマイナス幅が19.5ポイント拡大し、▲55.6となった。業種別では、すべての業種でマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	4.4 (9.0)	34.9 (45.2)	60.7 (45.8)	▲ 56.3 (▲ 36.8)	5.9 (10.4)	32.6 (43.1)	61.5 (46.5)	▲ 55.6 (▲ 36.1)
建設業	0.0 (0.0)	68.4 (90.9)	31.6 (9.1)	▲ 31.6 (▲ 9.1)	0.0 (4.5)	57.9 (77.3)	42.1 (18.2)	▲ 42.1 (▲ 13.7)
製造業	5.3 (8.7)	15.8 (30.4)	78.9 (60.9)	▲ 73.6 (▲ 52.2)	10.5 (17.4)	15.8 (26.1)	73.7 (56.5)	▲ 63.2 (▲ 39.1)
卸売業	0.0 (7.7)	41.7 (53.8)	58.3 (38.5)	▲ 58.3 (▲ 30.8)	0.0 (7.7)	33.3 (53.8)	66.7 (38.5)	▲ 66.7 (▲ 30.8)
小売業	19.2 (25.9)	19.3 (33.4)	61.5 (40.7)	▲ 42.3 (▲ 14.8)	23.1 (25.9)	15.4 (26.0)	61.5 (48.1)	▲ 38.4 (▲ 22.2)
飲食業	0.0 (0.0)	5.6 (6.2)	94.4 (93.8)	▲ 94.4 (▲ 93.8)	0.0 (0.0)	5.6 (6.2)	94.4 (93.8)	▲ 94.4 (▲ 93.8)
サービス業	0.0 (7.0)	48.8 (48.8)	51.2 (44.2)	▲ 51.2 (▲ 37.2)	0.0 (4.7)	51.2 (55.8)	48.8 (39.5)	▲ 48.8 (▲ 34.8)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

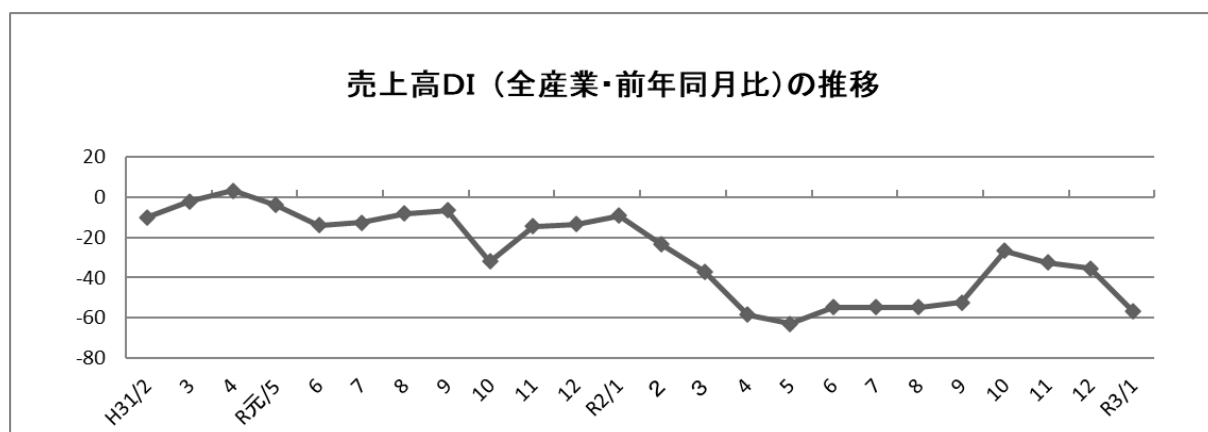


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲35.4）よりマイナス幅が21.6ポイント拡大して、▲57.0となった。業種別に見ると、すべての業種でマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
全 体	▲ 9.3	▲ 23.4	▲ 37.0	▲ 58.6	▲ 63.0	▲ 54.8	▲ 54.8	▲ 54.9	▲ 52.4	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 35.4	▲ 57.0
建 設 業	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4
製 造 業	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4
卸 売 業	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3
小 売 業	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5
飲 食 業	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4
サービス業	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3

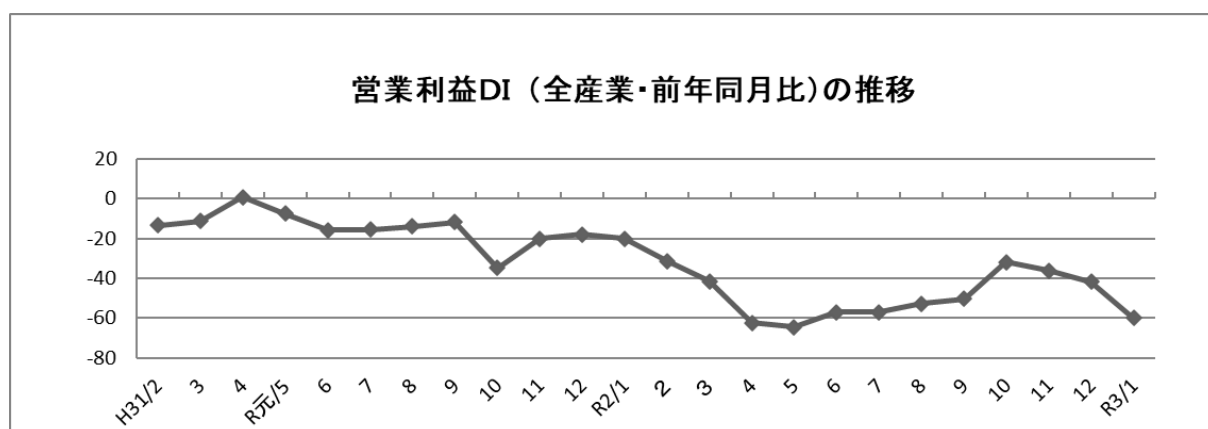


3. 営業利益DI（前年同月比）

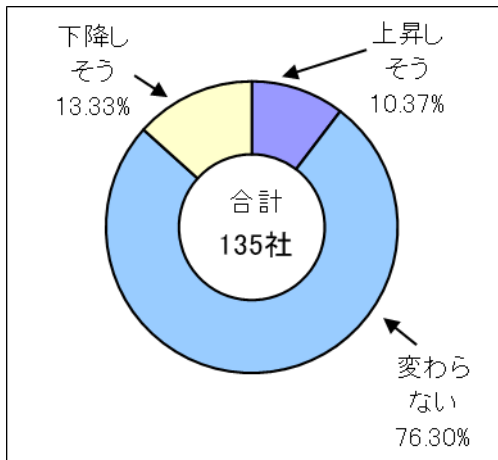
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲41.7）よりマイナス幅が18.3ポイント拡大して、▲60.0となった。業種別に見ると、すべての業種でマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
全 体	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 41.5	▲ 62.5	▲ 64.5	▲ 57.0	▲ 57.1	▲ 52.8	▲ 50.3	▲ 31.9	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 60.0
建 設 業	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4
製 造 業	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6
卸 売 業	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3
小 売 業	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2
飲 食 業	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4
サービス業	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

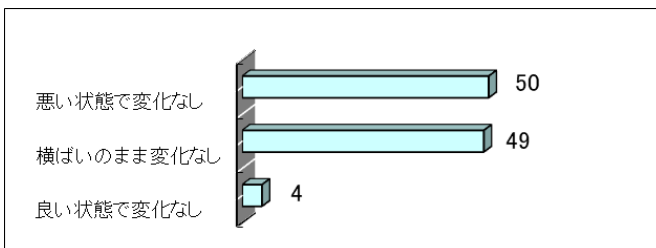


○令和3年2月～令和3年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ6.90ポイント増加し10.37%、「下降しそう」が10.28ポイント減少し13.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(10.5)、製造業(15.8)、卸売業(8.4)、小売業(▲3.8)、飲食業(▲22.2)、サービス業(▲12.2)であった。

➡「上昇しそう」では「2、3、4月の年度末残工事の受注を増加させるため」「県の2月大型補正のため」(建設業)「1月は閑散期だからだと考え、年度末に向けて動き出してほしいため」「2月から始まる新型コロナウイルス感染症のワクチン接種による社会的安全性改善のため」「ゆるやかに回復基調にあるため」「受注増が見込まれるため(同意見2件)」(製造業)「新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてきているため」「春需要、キャッシュレスキャンペーンのため」(卸売業)「新型コロナウイルス感染症の緊張がゆるんできたため」「テイクアウト需要が増えているため」(小売業)「新型コロナウイルス感染症第3波が終わるため」(飲食業)といった声が寄せられた。

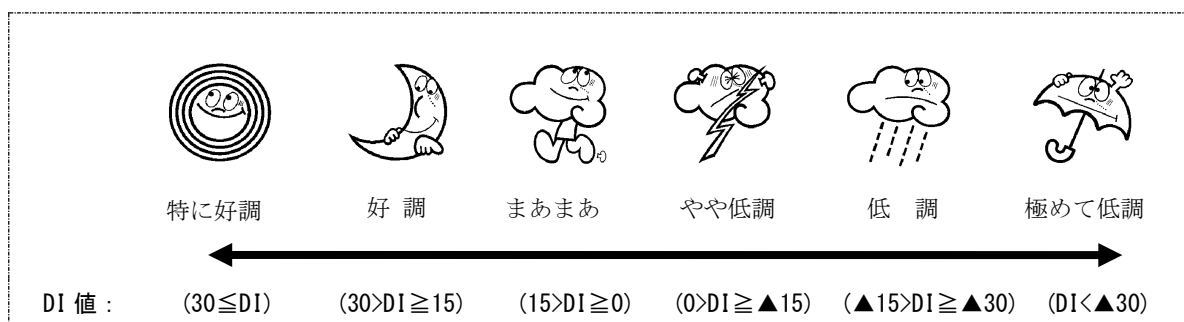
➡「変わらない」では「前年度が良すぎたのか、引合自体は例年と変わらないため」「雇用情勢が改善傾向となり、職業訓練受講者数が頭打ちになっているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「新型コロナウイルス感染症による飲食店の受注減のため」「航空産業における新型コロナウイルス感染症の影響のため」(製造業)「全く商売になっていないため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため」(小売業)「新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないため(同意見4件)」(飲食業)「首都圏の非常事態宣言が延長されると思われるため」「この先の見通しがたたない状況のため」「新型コロナウイルス感染症の影響と災害で建築設計の仕事が期待できないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

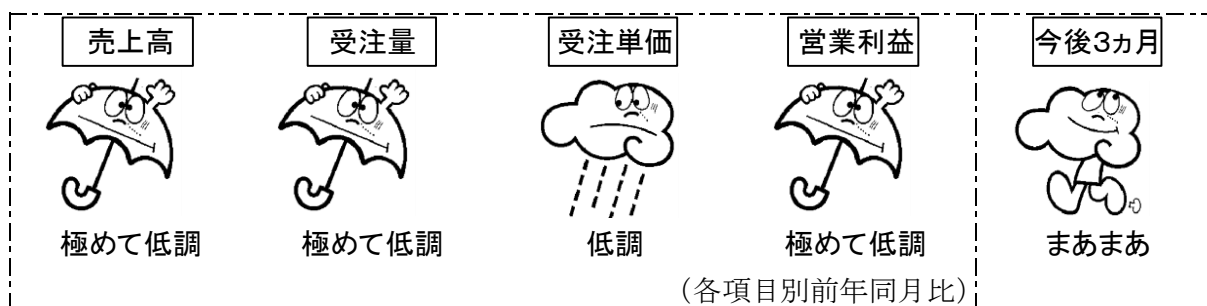


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2	▲31.8	▲35.0	▲39.1	▲15.8	▲22.8	▲13.6	▲47.4
受注量	0.0	▲16.7	▲25.0	▲55.0	▲36.4	▲29.2	▲27.3	▲25.0	▲34.8	▲21.0	▲18.2	▲27.3	▲31.5
受注単価	0.0	▲8.3	▲5.0	▲15.0	▲18.2	▲20.8	▲18.2	▲25.0	▲21.7	▲10.5	▲13.7	▲4.5	▲15.8
営業利益	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5	▲36.4	▲40.0	▲30.4	▲31.6	▲36.4	▲31.8	▲47.4
見通し	4.2	▲12.5	▲5.0	▲25.0	▲13.7	▲4.2	▲4.6	0.0	▲8.7	▲10.6	▲13.7	▲4.6	10.5

<経営者の目・見方・etc>

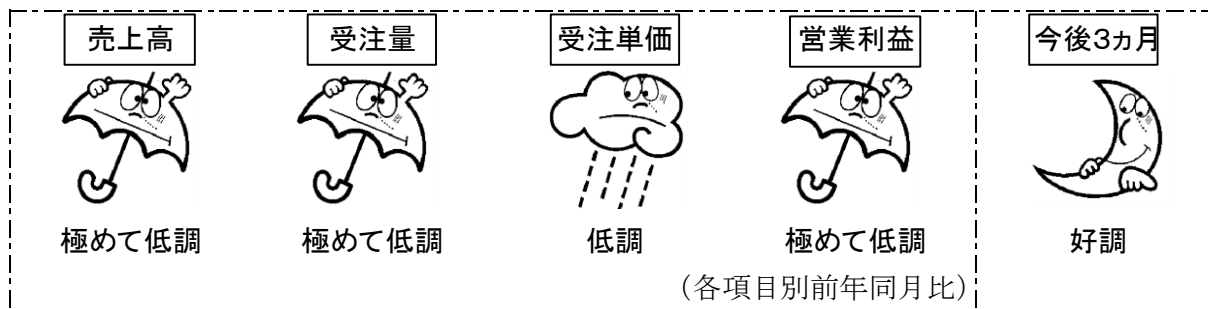
鉄工

・新型コロナウイルス感染症第3波の影響もあり、業界関連新年会等はすべて中止となった。材料費の根戻しが大きく、一部逆ザヤになっている事業所も見受けられる。

管工事

・今年の冬場は例年以上に民間が低調なため、とても厳しい状況である。
 ・受注減はあまりないものの、得意先比率の変動があった。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4
受注量	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9
受注単価	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1
営業利益	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6
見通し	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8

<経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・緊急事態宣言の発令で止められていた経済のしわ寄せが回ってくるのはこれからだと考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防接種申込関連印刷物で近隣都市では印刷関連業界ではなく大手旅行代理店が落札する事態である。地元業者が対応できないサービス等も付加されてのことだが、こうも緊急切迫する業務内容だと少しも地元業界に貢献しない。Go To 関連事業の主たる印刷物も地元での動きは皆無である。松本市の新型コロナウイルス感染症予防接種関連では県外大手印刷会社が落札した。地元に分けすることもなく、県外に税金を垂れ流すことになってしまった。これではトリクルダウン的地域経済循環もこの業界では期待できない。

製麺

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で全く注文なし。

精密機器

- ・海外との人の往来が回復するまでは立会や調整などができず、大型の設備投資の回復は見込めない。

精密機器組立

- ・新規の見積もりが増えてきた。春頃は忙しくなりそうだが、現在はまだ週休3日で雇用調整助成金をもらっている。

プラスチック製造

- ・緊急事態宣言の影響で全体的な動きが鈍くなり受注量が減ってしまった。この先も不安定な状況が続くと思われ、非常に不安である。
- ・県外客の来店はほぼ無かった。

金属塗装

- ・1月の受注、売上は過去数十年で最低だった。新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。一日も早い終息を期待している。

3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3
販売客数	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3
販売客単価	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3
営業利益	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3
見通し	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4

<経営者の目・見方・etc>

土産品

・コロナ禍で厳しい状況が続くそうである。土産品の賞味期限切れに苦慮しており、業界への対応策を検討して頂きたいと切にお願いしたい。

業務用食品

・経済環境が厳しくなり、企業存続の課題解決に悩んでいる。

青果

・松本市は、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが5で時短営業または休業となり、業態によっては非常に厳しかった。量販店は好調、野菜と果実共に昨年並みの単価推移で、1月の経営はぎりぎりである。

青果卸小売業

・新型コロナウイルス感染症の影響で人が出てこなかった。スーパーで土日に購入し、平日は極力外出しない状況。

金属製品

・鋼材の値上げ需要がある中、材料調達に苦慮している状況。特に酸洗、冷延、表面処理鋼板とコイル待ち状態となっており、納期遅延が見られる。建築案件も物件が薄い中、材料の高騰により鉄骨単価の圧縮が懸念される。

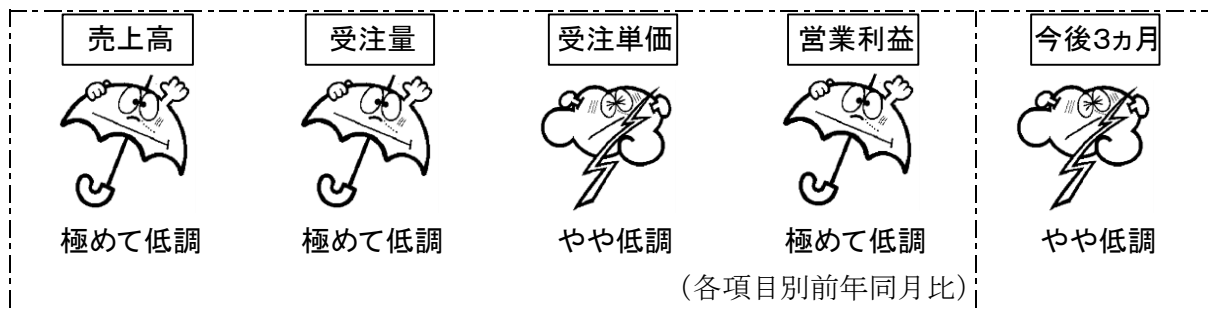
機械工具

・半導体関連が調子よく、助けられているが、他が上がってこない。

自転車

・今後、中国からの輸入が遅れそうである。また、部品の生産、運ぶコンテナの箱が間に合わない。商品欠品の可能性の情報を知っているお客様の購入がではじめた。春需要の商品を確保できるか微妙である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5
販売客数	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9
販売客単価	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7
営業利益	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2
見通し	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8

<経営者の目・見方・etc>

印章	・飲食店の営業自粛により街から人通りが消え、店の売上も激減した。2、3月の新年度に向けた需要に期待したい。
印章・刃物研ぎ	・商店街に人の気配がない。業界誌もつまらない内容で読む気にならない。
洋菓子店	・菓子、パン業界はどこも相変わらず好調と聞かすが、引き続き新型コロナウイルス感染症には気を付けたい。
和菓子	・松本市街地を歩く人が少なく、お買い物に来店してくださっても、一人の単価がとても少なくなっている。
パン	・新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが5に引き上げられ、「不要不急の外出は控えてください」という放送が流れると、客数が減少する。特にお子様連れ、お仲間連れのお客様が減った。
食料品	・通信販売、卸売りは好調だったが、Go To 関連事業の一時停止、松本地域の新型コロナウイルス感染症患者の急増による行動自粛のため、店舗への来店客数は激減し、店舗の売上は前年を下回った。ネット販売の強化が急務である。
生鮮食品	・Go To Eat キャンペーン事業の券が使える店と使えない店とが発売の時には分けられていたと思うが、どこでも使えると考えているお客様がいる。
婦人服	・松本市内を歩いたが、空き店舗が目につき残念である。ショップの周りでもブランドの移動、撤退があつて多くのお客様の期待に応えられなくなりそうである。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてから変わりなく営業できるように芯をしっかり持ちたい。
化粧品	・新型コロナウイルス感染症の影響で中心市街地の人影が少ない。観光客も全く姿が見えない。新型コロナウイルス感染症の終息を願う。
住宅機器	・1月に入りまた動きが小さくなってきた。エンドユーザーのリフォーム需要が活発になってきている。
燃料	・新型コロナウイルス感染症で自粛、緊急事態宣言はいつまで続くのか。

・5月以降の全国の同業者の実績を見ると、半数は前年割れだが、残りは増収と前年並みとでほぼ同数である。コロナ禍においても、同じようなものを販売しているようでいて、地域や客層、販売方法が異なると明暗を分けている。主力商品が外食産業向けの食器や厨房用品だったり、ブライダルギフトだったりすると、売上が立たない事業者が大半であると考える。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4
販売客数	▲ 25.0	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4
販売客単価	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 81.3	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7
営業利益	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4
見通し	▲ 6.3	▲ 47.1	▲ 71.4	▲ 46.2	▲ 18.7	▲ 26.6	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2

<経営者の目・見方・etc>

料理

・コロナ禍の中で新しい年を迎えたが、人と人の信頼感が無くなりつつある。いつもの正月とは違い、営業時間短縮ではお客様は来なかった。

郷土料理

・毎日除菌や手洗いなどを行い、一番衛生的と思われるのが飲食店である。現在はテイクアウトと店頭販売に力を入れているが、早期の Go To 関連事業の再開を願う。

創作料理

・首都圏の外出自粛で観光客も入らず、冬休みのスキー客などもほとんどいないようで、他県からの来客がない。地元客は Go To Eat キャンペーン事業の食事券の利用が多く、現金が入らず、仕入れや支払いが滞ることがある。

食堂






・まだ続く新型コロナウイルス感染症の下、例年も1月は客足が遠のくものの、本年はとてつもない状態で経過した。感染警戒レベルが動くことで予約されてもキャンセルが相次ぐ。思い余ってお店は当面休業状態とした。儲けは期待できないが、お惣菜を作り、仕出し、細々とやっていくしかなく、我慢が続く。

・新型コロナウイルス感染症の影響拡大で、松本市感染警戒レベル5になり、お昼の客足が減り、夜は時短営業になり、周辺のお店も大変な思いで頑張っている。春が待ち遠しい。

・夜8時過ぎまで営業している店には協力金の支給があるのに、8時前に閉店している店には何の補償もないのは残念に感じる。1日も早く新型コロナウイルス感染症が終息して通常の生活に戻るのを願うのみである。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県及び市からの要請を受け、飲食店はどこも大変な月だったと思う。2月は Go To Eat キャンペーン事業やペイペイなどによりお客様が増えることを期待したい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で新年会等のキャンセルが気にはなったが、それでも通常とまではいかないにしてもかなり営業成績が戻ってきたように思う。テイクアウト利用者が以前よりも急増したことが一因かと思われる。ワクチン接種開始が待ち遠しい。
- ・例年の新年会の予約がほとんどなく、客数がかかり減少してしまい、営業的に低調な月であった。松本市より休業、営業時間短縮の要請もあり、駅前の飲食店街の人通りもほとんどなかった。
- ・飲食店が悪いような風潮があるが、消毒など対応はしっかり行っており、マスクミにあおられすぎな面がある。
- ・元旦のみ人出があったが、あとは新年会等まったくなく、最悪の月だった。ただただ耐えるだけであった。
- ・新型コロナウイルス感染症第2波の影響は少なかったが、第3波の影響は大きかった。
- ・駅前や店前に人通りがない。

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	低調	極めて低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
売上高	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3
販売客数	▲ 10.9	▲ 8.9	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1
販売客単価	4.3	▲ 2.2	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4
営業利益	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7
見通し	▲ 4.4	▲ 40.0	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2

<経営者の目・見方・etc>

- 自動車整備・板金塗装
- 機械設計
- ・世間の新型コロナウイルス感染症に関しての関心度合いは相当なものである。当社のお客様にも飲食店関係の人も多くいるが、皆が口をそろえて「生きていけない」と切羽詰まっている状況がよく見える。新型コロナウイルス感染症が終息しないとすべての業種に影響が出るだろうから先行きが不安である。
- ・コロナ禍でリモートの打ち合わせが多くなった。海外との打ち合わせはリモートにせざるをえない。コロナ禍で業績が上がっているところがあり、部品が間に合わないということが起こっている。

ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・システム化投資について、一時期に比べれば持ち直している感触がある。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響でリモートワークを実現するツールが豊富な割に、それを使いこなす人材が少ない。未だにセキュリティの名目で開発者に持ち出しを許さない一次請けベンダーもある。非効率を超えて、衛生的に迷惑な現場もあると聞く。
システムサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・投資意欲はまだまだ弱いが、若干持ち直しの動きはあり、情勢を注視していきたい。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・新年の行事や催しが新型コロナウイルス感染症の影響で中止や縮小されるなど、人出は少なく、売上は前年の半分を割った。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・直近の10年間で売上が一番悪い1月であった。2、3月も現在の状態のまま業績は下方修正せざるをえない。一番良いシナリオは3月8日からの緊急事態宣言解除とGo To トラベルキャンペーン事業の復活で、一番悪いシナリオは国民にワクチン接種までダラダラと低迷していること。非常に厳しい状況になってきた。 ・このままの状態ですべて企業として「成り立つ」のか心配である。松本市も長野県としても対策を考えてほしい。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、会議、宴会、すべて激減した。昼のレストランのみ若干の動きがある。この情勢の中、2件の新規ホテルの建設が始まる。 ・1、2月は閑散期であるが、緊急事態宣言の発令により首都圏からのお客様が来れなくなり、営業が困難である。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の売上が半年間で見ると年々の2割程度しかない。景気が落ち込み、仕事ができないためと思われる。官庁も10年間でワースト3に入るほど、とれない月であった。競争が激しく受注ができない。新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に表れ、先行きが不安である。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の緊急事態宣言発出及び県内の感染が拡大し、予想通り大幅に売上、利益ともに減少した。3月には緊急事態宣言の解除及び、ワクチン接種等により、4月以降に期待したい。厳しい経営状況ではあるが、3月にはコインランドリー2店とドライブスルー対応型クリーニング店舗をオープンする予定である。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・来店数、売上高共に前年並みだった。1月のホテルの売上が前年5割減だったが、美容部門の売上が増加した。新メニューの販売も順調に伸びている。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者数も増え、松本市も感染警戒レベルが5に引き上げられ、人の動きが止まった。証明写真など必要な写真は少ないながらもあったが、成人式などイベント行事が延期や取りやめになるなど、厳しい状況となった。2月の卒業記念写真、3月の卒業式等の写真に期待をしたいところである。